

発行 青森県金木町役場
編集 企画室

昭和53年6月号



開館まぢか!!

金木町立

歴史民俗資料館

五十二年度に建設された「金木町立歴史民俗資料館」が先ほど完成し、開館の準備を着々と進めています。

この資料館は、建築工事費三千五百万円、面積三百七十九平方メートルの一階平屋建てで、県内では四番目の建物です。

館内には、民芸品・農耕具・先祖伝来の品々や作家太宰治の遺品・関係書物等を展示する予定です。町では展示物の提供者を捜しています。もし、家庭に先祖伝来の品々などがありましたら教育委員会までお知らせ下さい。町民のみなさんが協力して立派な歴史民俗資料館にしましょう。

昭和53年度

当初予算決まる 第83回定例会



昭和五十三年度の当初予算は、四月十一日から十七日までの七日間にわたって開かれた第八十三回町議会定例会で可決されました。予算規模は歳入歳出とも昨年度の当初予算額より四十四・四％増の六億七千三百一十一万一千円上廻る二十一億八千八百一十万一千円となりました。

三十七万三千元、交通安全対策費五百二十五万八千元などが主なものです。

◎徴税費

三九、二〇五千元

◎戸籍住民登録費

一六、五九七千元

◎選挙費

一〇、二九七千元

◎統計調査費

二、二二七千元

◎監査委員費

三七四千元

◎民生費

三八一、九一七千元

◎社会福祉費

一四〇、五〇九千元

◎児童福祉費

二二八、九九九千元

◎保健衛生費

三三〇、四〇五千元

◎災害救助費

一、二五〇千元

◎国民年金事務取扱費

一、一五九千元

◎衛生費

二二八、三二九千元

◎労働諸費

七、八四〇千元

◎農林水産業費

一四八、三九九千元

◎農業費

一三四、四五五千元

◎林業費

一三、九四四千元

万九千元、児童館費一千五百七十六千元、児童措置費二千五百二十八万円、保育所増改築（第一保育所）九千六百四十四円などです。

◎清掃費

三六、七七二千元

◎病院費

三三、〇八二千元

◎水道整備費

二二八、〇七二千元

◎労働費

七、八四〇千元

◎農林水産業費

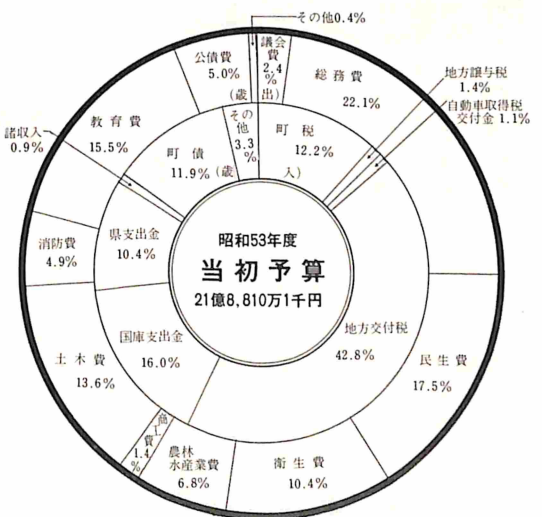
一四八、三九九千元

◎農業費

一三四、四五五千元

◎林業費

一三、九四四千元



7、八四〇千元

一四八、三九九千元

一三四、四五五千元

一三、九四四千元

七、八四〇千元

一四八、三九九千元

一三四、四五五千元

一三、九四四千元

七、八四〇千元

一四八、三九九千元

商 工 費

三〇、六三二千元

◎商工費

三〇、六三二千元
 商業振興費一千六百四十六万円、芦野公園内芝張工事三百万円、湯の沢観光道路工事百万円、観光協会助成金三百二十万円ほか。

町営住宅建設に
 九千五百六十万円

◎住宅費
 一〇八、四四二千元
 流末処理等の工事費二百万円、水道切替工事負担金三百六十万円、住宅(二十戸)建設工事九千五百六十万円など。

◎道路橋梁費

一四七、五二一千元
 除雪用グレーダー購入一千百十三万円、道路修繕費百万円、道路新設改良費五千八百五十万円、大東ヶ丘線凍害防止工事四千二百四十万六千円、芦和線道路改良工事三千三十一万八千円などが主です。

消 防 費

一〇七、九六一千元

◎消防費

一〇七、九六一千元
 津軽北部消防事務組合員

担金及び分担金九千七百一十一万八千円、消防施設費(沢部屯所新築工事、消火栓設置工事負担金)二百八十万円などです。

教 育 費

三三九、九八〇千元

統一億五千八百五十六万円
 統合小学校建設事業に

◎教育総務費

三四、六二九千元
 教育委員会事務局費三千四百二十五万七千円が主。

◎小学校費

二二〇、四六二千元
 学校管理費六千五百五十万二千円、統合小学校新築工事(一期工事)の学校建設費一億五千八百五十六万円など。

◎中学校費

二二、六二五千元

◎社会教育費

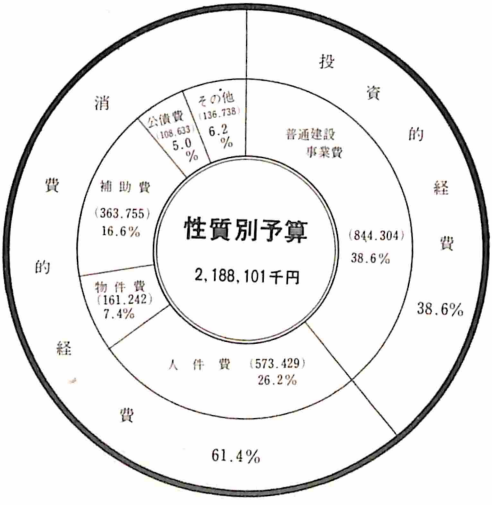
三六、四七四千元
 社会教育総務費四百六十六千円、各種学級費百六十一万三千円、公民館費二千

やあ 市長です

一、民俗資料館が完成いたしました。これから開館するわけですが、先祖伝来の家具、装身具、装飾品、農耕具や民俗品等を回覧板等で募集しております。又、作家太宰治の遺品や関連ある品々をお持ちでないでしょうか。責任をもって保管展示いたしますので何卒資料館長、教育長、教育委員

願ひ致します。
 二、来年度賽の川原(芦和)線道路まで陸橋道路が完成する予定であり、そろそろゴミ捨て場を廃止、盛土したいのですが、ゴミ捨て場用凹地を捜しております。
 三、住みよい町、きれいな川原、牧場、スキー場整備等で御気付きの点や、御意見をどしどしお寄せ下さるようお願いいたします。

①汚水が迷惑を及ぼさない。
 ②カラス、蠅、臭(企画室)や、人権擁護(総務課)、心配ごと相談(民生課)等開設しております。
 ③冬期通行可能。
 の三点を勘案、候補地がございましたら何卒民生課、企画室、総務課、土うお願いいたします。



諸 支 出 金

五三三千元

◎基金積立金

四三三千元

◎特別会計繰出金

一〇〇千元

予 備 費

一、〇〇〇千元

公 債 費

一〇八、六三三千元

◎公債費

一〇八、六三三千元

私の体験

「女消防士第一号」 になって

金木 三年

渡辺 公子



(辞令を受け取る渡辺さん)

四月十三日、その日私は一日消防士になった。朝の九時頃金木消防署につき、消防のこん色の制服を着、ネクタイまでしめた。署長室にはいり、辞令をいただいた時は、緊張して体がコチコチになっていたのが、自分でもよくわかった。その時ふと、「女の消防士は金木署はじまって以来ではないのかな?。もしそうだ

とすると、私は女消防士第一号ってわけだ」と、オーバーなことを考えた。消防署の広場で、朝会を行なった。今日だけだとはいえ私も消防士は消防士なので私もみんなと同じに、横に「一列に並んだ。だれかが「番号」と言うと「一、二、三」とものすごい大きな声を出したつもりなのだが、さすがに本職の人には、かなわなかった。朝会を終え今度は火消しの練習をした銀色のかなり重い防火服を着て、ほんの少しではあるが消防車にも乗り、すぐこの車庫に水をかけた。松江君と二人でホースもついていたのだが、三十秒もすると手がつかれてきた。本当の火事の時など、よっぽ

どの体力を必要とするだろうとつくづく感じた。そのために、女の消防士はめつたにいないのだろう。火消しの練習をしている時でもまた消防服を着る時などでも、消防のみなさんは、とてもよく指導し、まためんどうを見てくださった。仕事の仕事だけに、消防署の人達はいつも顔にしわをよせて、むずかしいことばかり話しているのだろう。という私の想像とは全くちがっていた。十時近くになり本部に向かった。本部というのは、金木、中里、小泊市浦の消防署で作っている津軽北部消防組合の本部のことだ。それは中里にある。いいの、などと勝手に乗った。たつた一時間しかない。金木署だったが、なぜかごり惜しかった。しかし、本部への希望もまた大きかった。二、三十分車に乗り、本部に着いた。私は中里の町を全然知らない。本部があるのかは、わからなかったが、町なかでない

ことは確かだった。さすがに本部ともなると大きく、新しくりつぱだった。事務室にはいると、すでに市浦と小泊中の人達は来ていた。中里がきて、全部そろると別の部屋に移り座談会をはじめた。私もそうであったが、他校の人達も緊張して固くなっていた。しかし、消防の人達のお話を聞いていううちに、次第に心がなごんできた。津軽北部地区での、一年間に起こった火事の件数、その損害などの説明があった。一番消防署で困るのは、火事の報告のことだそう。火事の時はだれでもあせるもので正確に報告する人は少ない。頭では理解している。でも、いざその時となると私は正確に報告できるとい

う自信がない。まず火事の時、落ち着かなければならないのだ。と、あらためて感じた。座談会のあとには、アンケートを書いた。やはり消防についてのアンケートではあったが、なんと答えていいのか、はつきりわからなかった。特に、あなたは火事を起こさない

ようどのようなことに気をつけるか、という問いでは困ってしまった。自分で特別気をつけていることは、これといつてなかったからである。自分の火事に対しての無感心さを改めて知った。と同時に、よくこれだ。一日消防士になれたものだと、自分ながら恥ずかしく思った。十一時半頃になるとみんな署内を見て回ったが、特に議会室にはびつくりした。県議会の会場とまではいかなかったが、それを思わせるような、りつぱなものであった。消防の人からいすの値段を聞かされた時は、またまたびつくりしてしまった。さっそくそれに座してみたら、さすがにフカフカして気持ちよかったです。それから、お昼を

「一日消防士」で感じたこと

金木中 三年

松江洋一

「いつてまいるぞ」。な
どと愛きよをふりまいで
教室を出たものの、内心は
消防署についてからのこと
が気になり、緊張している
やら、不安やらで気が進ま
なかった。消防署について
「よろしく願います」と、
いつてしまおうと緊張は
だいぶほぐれた。制服に着
がえ、辞令を受けて、簡単
な朝礼の様なものがあった
後、「消防署の前の倉庫か
ら火がでた。」ということ
で、演習をやることになっ



(辞令を受け取る松江くん)

た。通報がはいると、消防
車に乗りこみ、すぐおりて
ホースを使ったけれど、ホ
ースに水が来ると急に重く
なった。その上、防火服を
着ていたので動きにくかつ
た。これが実際の火事現場
だとこの上、多勢の人が周
りにいること、ホースがも
つと重く、動きにくいこと
人命を救助することなど大
変な事だと思う。もし、私
に火事現場で「同じことを
やれ」と言われても、ただ
うろたえるだけで、なにも
できないのではないかと思
う。やはり、毎日の訓練な
しでは無理だろう。消防署
の人達は、「いつ」おこる
かわからない「いつ」に備
えて毎日訓練し、一日交た
いで寝ずに勤務しているこ
を思うと、頭が下がる思
いだ。金木署長さんも、中
里の本部長も、「救急車を



(放水練習の二人)

」という通報がはいると、
すぐに出動できるようにし
ているのだが、いたずらと
か、それほどのことでもな
いの、通報してくること
がある、それでも、相手が
どうであるかわからないの
で出動するけれども、もし
この間に、火事や、本当に
急を要する患者がでた場合
大変なことになるので、い
たずらはやめてほしい。ま
た、消防車も同じで通報が
はいると、たとえいたずら
でも、出動していくことに
なるので、こういうことは
絶対しない下さい。とい
っていた。本当にそのとお
りだと思う。毎日の訓練は
私達を緊急事態から救って
くれるためにやってしてく
れているのだ。いたずらのた
めにあるのではない。とい

ことを考えてほしい。署長
さんの話も終って、中里の
本部へ行った。本部では、
「前に一度、小泊の分団が
解散させられた時、村の人
達は、不安で、夜も安心し

て寝られなかった。」とい
う話を聞かされた。昼食を
いただいて、学校まで送っ
てもらったけれど、この日
は、私達にとって、普段あ
まり関係ないと思っていた

消防署が、いかに大事か、
また、何も関係のない私達
を守ってくれていることが
わかり、有意義な一日だっ
た。



今月のテーマ

「将来どんな職業につきたいかの？」
嘉瀬小学校六年生に聞く

エビッコインタビュー④

くらしに役立っている 簡保・年金からの融資

町で実施する事業の大部分は地方債（借金）によって行われていりますが、この地方債の資金には、みなさんが積立している国民年金や簡易保険の積立金を利用していきます。ですから、み



(朝日団地)

皆さんの積立によって事業が行われることになりました。五十二年度では、簡保で朝日団地（二十戸）の建設



(蒔田老人憩の家)

年金では塵芥車の購入と蒔田老人憩の家が建設されました。

金木夜話

(3)

太宰治のこと (その一)

競馬場を過ぎると見渡すばかりの野原になる。そのころの区有地はまだ一面の野原で、畑もなにもなかったから、春にはワラビの宝庫だった。晴れ渡った青空にはつきつきヒバリが舞い上がって、まったくヒバリの交響曲だ。

松並木の下を通って、高流（たかながれ）まで行くと、ナン倭（コダシの大きいもの）にすぐワラビがい

訪ねて見れば

流れ山

霞の奥の

蝦夷の島影

この歌は当町の明治の歌人が詠んだものということだが、まったくそんな感じである。

休んでいるうちに炭焼きの人が、炭俵を背にして二

所得税の

特別減税

今回、昭和五十二年分所得税の特別減税が行われ、次の金額が還付されることになりました。

還付される金額は、本人は六千円、控除対象配偶者や扶養親族は一人につき三千円として計算した金額です。ただし、昭和五十二年分の所得税額の方が少ないときは、その税額までとなります。還付方法とその手続は次のとおりです。

〈サラリーマンの場合〉

本年六月一日現在において昨年と同じ会社に勤務しているサラリーマンは、六月～七月ごろ、勤務先から還付されます。

〈事業所得者などの場合〉

事業所得者など確定申告をして納税した人は、六月末ごろに税務署から特別減税についてのお知らせが送付されますから、これに同封してある還付請求書用紙に所要の事項を記入して、税務署に送り返してください。

い。そうしますと、税務署から還付金の支払通知書が送られてきますから、この支払通知書によって郵便局で還付金を受取るようになります。

〈その他の人の場合〉

無年金者にも

最後のチャンス

一時の思い違いや、経済上の都合などで、国民年金に当然加入するはずなのに今まで加入しなかった人や加入しても保険料を滞納して老齢年金をうける権利がない人々に、最後のチャンスが与えられます。この人々は、今年の七月一日から昭和五十五年六月三十日までの二年間に加入の手続を済まし、滞納していた保険料を納めることができます。

滞納保険料額は一カ月につき四千円を納めることになります。この申出のできる

今年になって五月末まで退職した人や、昨年中途で退職した人などは、税務署へ還付請求をしてください。この場合、昭和五十二年分の確定申告書を提出していない人は、期限後の確定申告をして、特別減税を受けることになっています。くわしいことは、税務署へおたずねください。

人は当然加入の人です。サラリーマンの奥さん等任意加入している人は適用されません。くわしく知りたい人は、今すぐ役場年金係にご相談下さい。

みんなの街です。美しく
吸いからの投げ捨てはやめましょう。

Suckin' Clean



吸い込み掃除機の思いやり 大切なシーツ、カーペット

つばいになった。
野原ワラビは小さいが味がよいのだ。高流の上で昼食をした。

若生(わかおい)コンブで包んだ握り飯に小糠ニン、タクアンだけのおかずだが空腹にはこれでもおいしい。

高流から西の方を眺望すると、十三湖の沖にかすかに大島、小島が見え、また権現崎は怪物のように横たわっている。一方流れ山からは津軽平野の大半が一望され、岩木山の裾野から流れる大川の水が見えかくれしてところどころ白く光つ

金木花扇舞踊研究会

静和園を慰問

さる四月三日、金木町の花扇舞踊研究会(会長中西清逸氏)は、中里町の静和園を慰問しました。研究会では、これまでも数回慰問しており、お年寄りたちともすつきり馴になりました。沢田ソヨさん(副会長)ら十名から、おみやげや舞踊を披露してもらい、お年



寄りたちも大喜び。慰問のお礼として静和園からいただいたお金もすつきり寄付し、お年寄りたちと楽しいひとときをすごしました。

計量器の定期検査

(7月12日~14日)

- 12日 9時~11時30分
 - 川倉公民館
 - 13時~15時
 - 金木農協喜良市支所
- 13日 9時~11時30分
 - 嘉瀬公民館
 - 13時~15時30分
 - 金木町役場
- 14日 9時30分~14時
 - 金木町役場

上記検査場で計量器の検査を必ず行って下さい

三人通りすぎていった。ワラビでいっぱいになったナン俵を背負って私も帰途についた。

その途中、松並木の陰から、若い人の唄声が聞えてきた。哀愁を帯びたような歌で、その時はなんの歌かわからなかったが、あとで当



寄りたちも大喜び。慰問のお礼として静和園からいただいたお金もすつきり寄付し、お年寄りたちと楽しいひとときをすごしました。

寄付金ありがとうございます

西北五軍鶏保存普及会(会長対馬兼正氏)より金木町社会福祉協議会へ三万円が寄付されました。

プランター

ありがとう

中谷石油(店主中谷亨さん)からプランター五十個が寄贈されました。大事に使わせてもらいます。

戸籍の窓

ご誕生おめでとう

(3月)

- 西村真由美(勉) 喜良市
- 今 一樹(健二) 嘉瀬
- 今 哲也(泰三) 喜良市
- 田中 祐平(光雄) 金木
- 外崎 賢吾(茂) 金木
- 松江 将寿(喜代壽) 金木
- 高松 雅利(利明) 金木
- 楠美 恭寛(省一) 金木
- 小笠原佳宏(司) 金木
- 秋元 裕介(清美) 嘉瀬
- 原田亜希子(俊昭) 中柏木
- 棟方 和宏(武美) 嘉瀬
- 白川 友美(繁廣) 金木
- 川口千佳子(賢一) 蒔田
- 鳴海 春香(一郎) 嘉瀬
- 西村 美紀(龍逸) 金木
- 工藤 明子(登) 喜良市
- 今 諭子(定博) 喜良市
- 白川 光國(良昭) 川倉

(4月)

- 津島 涉(宅盛) 嘉瀬
- 笠井美穂子(武光) 金木
- 鳴海重紀子(勝文) 金木
- 白川千恵子(考則) 喜良市
- 白川 裕介(秋男) 金木
- 小松 一門(久) 嘉瀬
- 中谷 仁美(精一) 川倉
- 小松望都子(常一) 嘉瀬
- 石戸谷貴久(正) 金木
- 今 恵(幸雄) 喜良市
- 伊藤 健治(徳治) 嘉瀬
- 山中 聡史(晴雄) 嘉瀬
- 古川千絵里(房夫) 喜良市
- 今 龍人(正美) 喜良市
- 岡田 慎治(利雄) 蒔田
- 新岡 瞳(通芳) 喜良市
- 白川いづみ(修) 川倉
- 泉谷 聡(忠信) 川倉
- 斎藤 太一(廣志) 喜良市

ご結婚おめでとう

(3月)

- 赤石 勇一(勇蔵) 中里町
- 小野恵美子(なか) 喜良市
- 今 秀顯(栄蔵) 喜良市
- 大塚 佳子(和一) 埼玉県
- 中谷 憲男(民男) 川倉
- 工藤 良子(留吉) 浪岡町
- 山田 肇(正一) 金木
- 秋田トミ子(兼吉) 五所市
- 秋元 信一(嘉信) 金木
- 佐藤 京子(正勝) 五所市
- 宮崎 博明(勝視) 喜良市
- 秋元 絹子(廣) 稲垣村
- 伊丸岡初男(男治) 喜良市
- 緒方サエ子(浅吉) 鹿児島
- 細谷 明(イソ) 東京都
- 秋元しげ子(文太郎) 嘉瀬
- 帯川 孝夫(善三郎) 稲垣
- 澤田 友江(直一) 金木
- 佐野 明則(幸之進) 金木
- 山内つし子(兼四郎) 五所市
- 角田 伸(多計雄) 金木
- 福嶋 道枝(茂) 東京都
- 角田やよい(行雄) 金木
- 今 貴光(定春) 喜良市
- 角田 秀一(秀雄) 金木
- 藤元 貴道(成是) 金木
- 渋谷 有香(治) 金木

人口と世帯数

人口	7,312	人
男女計数	7,348	人
世帯	14,750	世帯
	3,782	世帯
	(S 53.5.31現在)	

- (野呂 幸市(喜代武) 嘉瀬
- (村馬 陽子(米雄) 五所市
- (桑田 明博(重一) 喜良市
- (三浦 のり(正弘) 藤崎町
- (斎藤 正治(キミエ) 金木
- (佐藤 啓子(初太郎) 室蘭
- (稲澤 敏郎(治郎) 茨城県
- (古川 益子(清一郎) 喜良市
- (星 勝利(幸二) 宮城県
- (蒔田 加寿美(正道) 蒔田
- (沢田 勇一(専治) 嘉瀬
- (雨瀧 通代(正直) 岩手県
- (白川 勝治(きそ) 金木
- (田中 知江(正夫) 東京都
- (三橋 政春(市之助) 藤枝
- (川口 とし子(熊次郎) 名古屋
- (川口 静男(進) 福岡県
- (工藤 由紀子(安右エ門) 嘉瀬
- (中村 司(長吉) 金木
- (好川 とせ子(虎之) 北海道
- (浅利 幸男(勝雄) 川倉
- (平良 美香子(正雄) 沖繩県

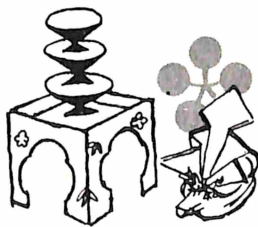
(4月)

- (横山 弘稀(三代治) 青森
- (松川 ミツ子(駒太郎) 嘉瀬
- (米塚 文史朗(勝春) 金木
- (杉林 まり子(勝義) 金木
- (木村 栄佐夫(栄吉) 五所市
- (阿部 キヨ(定平) 嘉瀬
- (鳴海 喜男(キエ) 嘉瀬
- (渡辺 みよ子(忠男) 三重県
- (三和 信克(慶市) 市浦村
- (小山内 三紀子(孫一) 藤枝
- (中谷 信弘(信五郎) 川倉
- (鳴崎 幸子(考え) 山梨県
- (木田 久(忠雄) 喜良市
- (佐藤 光子(正司) 岩手県
- (福井 司(貞雄) 稲垣村
- (徳田 伊公子(国雄) 金木
- (三好 雅英(貞雄) 北海道
- (芦田 美砂子(サエ) 喜良市
- (大川 寛(善五郎) 中里町
- (藤本 まつ子(秀雄) 喜良市
- (前田 光正(竹次郎) 神原
- (森下 こずえ(七造) 青森市
- (小甲 弘次(松五郎) 北海道
- (黒瀧 真澄(武美) 喜良市
- (加藤 幸司(忠則) 稲垣村
- (水上 ゆき子(喜美枝) 北海道
- (澤田 亨逸(義常) 嘉瀬
- (今 まさ(豊五郎) 嘉瀬
- (工藤 陸奥夫(尾司) 木造町
- (浅田 はつ子(貞吉) 金木
- (白川 仁美(義男) 金木
- (田中 和子(定雄) 弘前市
- (加藤 敬造(藤蔵) 埼玉県
- (藤元 祐子(市五郎) 金木
- (竹谷 弘(久雄) 中里町
- (小林 トミ(義男) 金木
- (白川 郷文(文四郎) 川倉
- (秋田 谷まち子(幸吉) 車力村
- (棟方 一光(浅太郎) 喜良市
- (出町 初枝子(成夫) 木造町
- (吉田 秀樹(忠義) 北海道
- (木立 由紀子(熙瑠) 嘉瀬
- (山田 清一(巳一) 宮城県
- (浜田 雪子(由雄) 嘉瀬
- (桑田 直喜(直治) 喜良市
- (佐々木 さだ子(明) 板柳町
- (赤坂 孝史(正) 青森市
- (今 ゆり子(京一) 喜良市
- (大屋 武蔵(与之助) 木造町
- (山口 良子(修一) 喜良市
- (泉田 富一(正次) 新潟県
- (今 友子(定之助) 喜良市
- (山中 知彦(孫一) 嘉瀬
- (軽部 圭子(興四郎) 神奈川
- (阿部 裕司(鉄雄) 金木
- (福島 尚子(勝雄) 川内町
- (沢田 義信(良雄) 金木
- (荒岡 敦子(照春) 金木
- (前田 進(清則) 神原
- (工藤 るえ子(嘉一) 車力村
- (山田 英幸(勝三) 金木
- (工藤 なほみ(經宏) 木造町
- (中谷 好隆(正) 川倉
- (横山 紀代子(久蔵) 木造町
- (佐藤 忠胤(忠一) 喜良市
- (飯田 久子(昌二) 茨城県

- (宮田 康彦(石松) 平館村
- (相沢 秋子(龍市) 金木
- (木戸 明則(弘) 蓮田村
- (其田 茂子(豊七) 川倉
- (泉谷 米造(金之丞) 川倉
- (安田 優子(勝美) 鶴田町
- (沢田 毅(繁八) 嘉瀬
- (桑田 郁子(一生) 喜良市
- (原田 正栄(与四松) 中柏木
- (阿保 優美子(正行) 弘前市
- (柳崎 一春(昇) 神奈川
- (山中 恵子(テツエ) 嘉瀬
- (棟方 政俊(善四郎) 喜良市
- (山中 恵美子(京治) 嘉瀬
- (花田 司(松義) 嘉瀬
- (桜田 玲子(武一) 青森市
- (北村 賢太郎(太一郎) 大阪
- (竹内 千鶴子(正義) 藤枝

おみやげ
おしあげます

- (阿保 竹美(弥一郎) 嘉瀬
- (原田 朱美(昇作) 福岡県
- (小松 和夫(喜代吉) 秋田県
- (藤田 富美子(健蔵) 金木
- (工藤 文雄(直繁) 五所市
- (秋村 曜子(米松) 嘉瀬
- (堀口 茂(与一) 埼玉県
- (工藤 英子(忠光) 嘉瀬
- (白戸 真樹(ちよ) 青森市
- (小寺 令江子(典男) 金木
- (小山内 嘉七郎(81) 嘉瀬
- (鳴海 メサ(73) 喜良市
- (横山 政次郎(80) 金木
- (萩岡 ツセ(73) 金木
- (小山内 兼蔵(73) 嘉瀬
- (白川 兼四郎(72) 金木
- (桑田 かね(44) 喜良市
- (芳村 はなよ(69) 喜良市
- (木田 さよ(73) 喜良市
- (今 重吉(75) 喜良市
- (藤森 リセ(71) 金木



編集後記

◇待望の歴史民俗資料館も完成、もうすぐ開館です。自然休養村事業で体育館も建てられます。バスケットボール、テニス、卓球ができ、トレーニングマシンでトレーニングもできます。大東ヶ丘にキャンプ場がつくられ、子供らに人気のあるフィールドアスレチックもできます。賽の川原には管理センターが建てられ、各集会やレジャーに利用されます。……金木町は今、観光開発に向かって大きく羽撃きはじめました。

◇農業委員会委員選挙が七月十四日に行われます。告示は七日です。農家のみなさん、みなさんの代表を決める大事な選挙です。一人の棄権者も出ないよう、みんなで誘い合って投票しましょう。

◇広報に載せてほしいことや、知りたいことがあります。したら、企画室へどうぞ。